広報 こすど

発行所 小須戸町公民館
発行人 宮崎純能
発行所 玉庭印刷所
毎月1日
一部5円

毎月第三日曜日は 家庭の日です

一日を家族全員ですごしましょう

老後に役立つ国民年金

みなさん加入しましょう

国民年金制度は、みなさんがお年寄になったとき、病気やケガで働きてをなくしたときに、加入者相互の協力によって、将来の不安をなくし、安定した生活を送っていただくことができるようにするために、昭和三十四年に設けられた制度で、拠出制の年金については昭和三十六年四月から保険料の納付が始められました。

この制度の実施によって従来、公の年金制度に加入していなかった農林漁業、中小企業、サービス業などの自営業者の方やその家族、あるいはその従業員の方などがこの国民年金制度に加入することとなり、現在全国で二、一〇〇万人もの人々が加入しています。

また老令年金の給付はまだ始まっていませんが、すでに九万二〇〇〇人の方が障害年金や、母子年金を三四三万人の方が福祉年金を受けています。

このように国民年金制度は、わが国において最も大規模な年金制度に成長しました。給付水準についても昨年の改正で、いわゆる「夫婦一万円年金」が実現し年金制度に対する関心もだんだん高まってきておりますが、私たちの将来の生活をまもるためにはこの制度を一層うまく運営して、よりよく改善していかなければなりません。

年金制度はなぜ必要かと申しますと、

近ごろの国民生活の状況をみますと生活環境がだんだん改善され、よい薬ができ医療技術が進歩するにしたがって、私たち日本人の寿命もおどろくほど延びてまいりました。まことに結構なことです。

しかしこのことは同時に日本に老人が多くなるということでも、その生活の問題を考えると、寿命の延長がすぐに老人の幸福に結びつくとはいえません。やはり老人の生活保障の問題を真剣に考える必要があります。

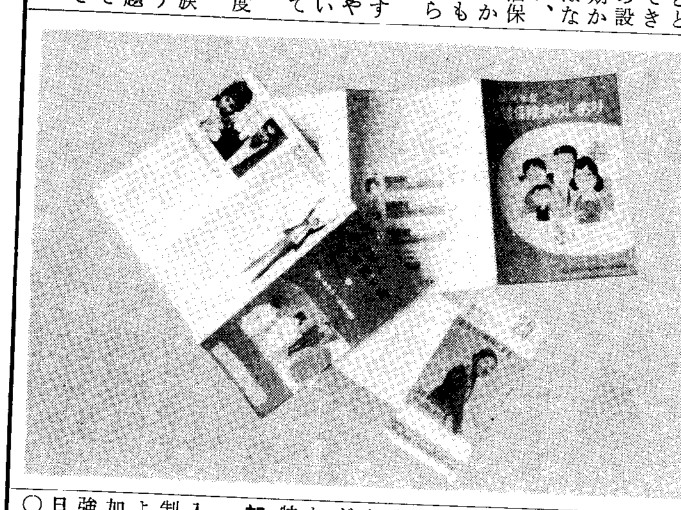
現在六十五才以上の人は人口一〇〇人中六人ですが、昭和六十五年には十一人と、昭和九十年には更に二十人と、いままで世界のどの国においても経験しなかったような数に達すると見込まれています。

これは遠い将来のことと安心していることはできません。個人の老後の設計が青年期や、壮年期からはじめられなければならないのと同じように、日本の老人全体の生活保障の問題もいまのうちから、長期の見とおしのもとに準備しなければならないのです。

それにこれまでですと、老人の生活は息子や嫁がめんどうをみる、いわゆる家族制度によって支えられていましたが、近ごろではこの家族制度もだんだんにくずれて、夫婦と子どもだけの家族が増えてきました。どうしても老人の生活の問題は社会全体が考え、国でとりあげる必要が生じてきたわけです。

年金制度はその対策の中心をなす、国の制度として生まれてきたものです。また年金制度は、傷害や死亡の事故があった場合にも生活保障の役割を果たすものです。最近交通事故が非常に多くなっておりそのほかにも、風水害などいろいろな災害でケガをしたり、夫をなくしたりする不幸がひんぱんに起っています。

このようなときにも自分自身の力で生活していくことを国民全部に、期待することはとうていできません。そこで社会全体の力によって、このような場合の生活を安心できるものにするためにも、国が管理する年金制度というものが必要となってくるものです。



幸せをもたらす国民年金

個人の貯蓄や民間の年金とどう違うか。

年金制度が必要なものだということは一般の人々にも、しだいに理解されてきておりますが、まだなかには、個人の戦前の貯蓄や生命保険などの、にがい経験を連想されていわゆる「保険ぎらい」ということで、年金制度を頭から理解しようとしないかたがいるようです。

しかし国が実施している年金制度は、個人の貯蓄や民間の年金と比較して、いろいろ有利な点があります。まず経済の物価の変動に応じて年金の額も高くなっていきます。このことははっきりと、法律に定められておりますから現在の年金額では将来役に立たないのではないか、というような心配はまったくありません。すでにこの規定に基づいて昨年給付額の大巾な引き上げが行なわれ、夫婦一万円年金が実現されたわけです。次に国も保険料の半額の負担をしているということです。これも法律に定められておりますからそれだけに少ない保険料で、多くの年金が受けられることになります。

国民年金制度とは

厚生年金保険、船員保険、各種の共済組合などの年金制度は、国民年金制度がつくられる以前からあった制度で、会社や工場に勤めている人、船船に乗っている人、官庁などに勤めている人などが、この年金制度に加入していました。みなさんがよくごぞんじの恩給というのも、この年金の一つです。

このようななかで農林漁業、中小企業、サービス業などの自営業者、その家族、あるいはその従業員といった人々の強い要望によって、昭和三十四年に国民年金制度が創設され昭和三十六年四月から保険料の拠出が開始されました。

この制度には当然加入しなければならない人と、任意に加入することができる人とがあり、現在当然加入者は一七九四万人。任意加入者は三〇六万人、あわせて二一〇〇万人もの人が加入しています。

また給付としては老令年金、母子年金等の給付があります。この国民年金制度は保険料を納めることが苦しい人には、保険料を免除する制度、まとめて保険料を納めておきたい人には、保険料を前納する制度、保険料を納めなくとも、一定の条件をみたした人には老令、傷害、母子の各福祉年金を支給するという制度など、他の年金制度にみられないいくつかの有利な特色を備えています。

加入の資格

国民年金には、必ず加入しなければならない強制加入と、本人の希望によって加入できる、任意加入とがあります。

強制加入者、日本国民で日本国内に住所のある二〇才から五十九才までの人は、つぎのような人を除いて、必ず国民年金に加入しなければならないことになっています。

イ　他の公的年金制度の加入者とその妻
ロ　年金や恩給などのある人とその妻
ハ　議員さんとその妻
ニ　昼間部の学生
ホ　明治四十四年四月一日以前に生れた人

任意加入者サラリーマンなどの妻や学生またはすでに年金給付を受けている人などは、いつでも希望して国民年金に加入することができます。また明治三十九年四月二日から明治四十四年四月一日までのあいだに生まれた人は、この国民年金制度が実施された当時、加入したいという希望を申し出て加入することができました。なおこの人が会社などに勤めて、いったん国民年金の加入者でなくなりその後会社などをやめたときは、三カ月以内に申し出でをすれば、国民年金制度に再加入することができます。

保険料の額は

加入者は保険料を納めなければなりませんが、その保険料の額は年金に応じて、つぎの表のように定められています。

保険料の額

区分	42年1月分から43年12月分まで	44年1月分から46年3月分まで
20才から34才まで	200円	250円
35才から59才まで	250円	300円

以上国民年金制度のあらましを、説明いたしました。年同該当のお方は、すみやかにその手続をおとりくださるよう、おねがいいたします。（年金係）

訂正

昭和四十二年十二月一日付（第一六六号）広報こすどの「財政再建計画（変更）」の原稿中、AマイナスB「歳入額」とあるのは、「歳入増減額」「歳出増減額」とそれぞれ訂正し、お詫びいたします。

小須戸風土記（その四）

小須戸地名考

柏　大治

〇山の手の地名
・向田六反谷
・三分一の沖
・金山の沖
・兎谷の沖
・三沢の沖
・舟　戸

以上は矢代田の県道しもの地名で沖、舟戸、の地名ができて水面を考いさせられるが、この地名はかなり古く未開発時代のなごりとみてよい。

この附近では金津、古津新津があり古津地内に舟つなぎの地名があって海辺を想像されるが、併て研究の余地がある。

竜玄新田と金津の中間には往昔、若宮潟、新保附近では、ながところ潟、頭なし潟、大日潟、鎌倉地内には鎌倉潟と多くの潟沼があった。したがって洪水等があれば大河の観をていした時代があったよだ。

・矢代田、天ヶ沢、鎌倉新田の間の田の地名には通り上、木戸の下、割田下谷内、中谷内、丸田、大沢谷内、下谷内、蓮田上谷内これまた谷のつく地名が多い。

山から谷をへて田へ流れでる山水の水路に関係があるのでなかろうか、この中で丸田、及び横川浜より天ヶ沢へ通ずる田の中に地下二、三尺の処から出土品がかなり沢山でているのに注目したい。須恵器のつぼ、祝部式土器、木炭などが出土する、こうなると沖、舟戸、潟どのように結びつけたらよいのであろうか、潟や沼も自然で形成されたものばかりでなく用水などで人工的につくられた場合もある。今後の考古学上の課題でもあろう。

・小須戸町町内の地名
・上稲荷町
元吉岡庄屋々敷に稲荷堂を祭ったところからできた名前である。

新町
は庄屋々敷が解放され新しく明治初年にできた町名である。

渡場町は信濃川の渉しから名付けられ古い地名である。

住吉町は旧役場屋敷に住吉神社がありなづけられた。宮に関係がある地名としては諏訪町、神明町、出雲町がある。

・上、下、中野小路は金津中野家の所有から名付けられた明治のなかごろ警察分署があり分署小路と称した。

元は吉田家の家があったところ。

花見小路は文字通り花畑の土地で真向には花屋山茂林寺がある。

・朝日町は昭和十七年頃の名称でその前は機械小路とゆうた大竹下駄屋の先祖は機械の発明家でそのながある。

・下稲荷町は高橋住十郎氏が稲荷堂を祭りその名あり。

・山吹町はもと伴六小路とゆうた。

・五番町に吉野小路あり
・寿町は元小梅小路とゆうた。

・一番町から五番町まであるが、昔は上町中町下町とある。横町は横へ発展した町である。

正に小須戸はてんけい的な町造りをしている。

・旧家はどん（殿）のつく家で、家号を持つ家は他から移住した人達が多い。他県からは
越中屋、加賀商
白川屋、さつま屋
屋号を調べると町の構成上に参考になることが多い。

附記

〇小向の項に私説として、附記したい。

小向を昔は「こんかい」と呼んでいる。「紺買い」からきた地名でなかろうか、新発田藩の古文献（慶長）には「コンニャロン」が数軒あったことが記されている。

◎三千刈は約四町歩（四〇〇アール）である。三十刈。五十刈を計算されたい。現在どの位の耕地になっているであろうか

訂正、小向（二号）堂土越は堂上越。矢代田（三号）石坂は石坂入窪杉は窪谿

竜玄和尚の寝言

＝なぎさ＝

一、「明治から百年小須戸町の歩み」を熟読玩味せよ良きをとり、悪しきをすてて、つぎの百年に全力投球。

二、町の名所武道舘に朝な夕な心を磨き技を競う小年柔剣士、諸君の夢と希望は大きくあれ

三、竜馬がゆくは人気絶頂。人一倍弱虫、泣虫の竜馬が千葉道場での剣の仕込みで、今の世に名を残す大丈夫となる。柔剣道は、人作りに効果あり。

四、父母を尊べ
目上を敬え
勉学も真剣に
この三項目が、少年柔剣士の心の道しるべ。

五、武道舘二階の道場に丈余の大鏡あり、明鏡止水「人のふりみて我が身を正す」これこそ人の道か。

六、庄瀬、上、下八枚、上浦、戸石などの少年が、剣道をとの申込みあり嬉しい悲鳴、子供には子供、中年には中年、老人には老人なりの柔剣道の練習方法があるはず、みんなの武道舘え気軽るにお出かけを。

七、若い芽を伸そう。青少年保護育成のため、悪書を追放しようと有識者が立あがり、近く矢代田駅に白ポスト設置の兆あり誠に結構。

八、近郷随一の近代建築たる小須戸町役場の所在を明示するために、国旗を掲揚されたいとの声あり、おそきにしつしたるか。

九、人間一度は死ぬものを俺も人の子、せめて一生に一度くらい欲得を離れて人のために、世のために尽してみたいと、思う人が一人でもふいれば小須戸町がそれだけ発展しようものを。

十、健康第一　火の用心　一家が和合すれば、血圧がさがる。身も心もすこやかに、今日も明日もめいめい一人一人が、持場立場をしっかりつとめあげましょう。

春さきに多い事故

充分な注意を

〇地すべりの危険か所は、あらかじめ調べておき、危険になったときはすぐ役場、警察などえ届けでる。

〇地すべりの危険があるときは、できるだけ早目に避難する。

〇春さきは雪どけ水で河川がはんらんし、思わぬ被害をうけることがあります。注意が肝心です。

◎**交通環境をよくしよう**

かぎられた道路を広くそして安全に使えるようにするには、交通環境をよくすることが大切です。それにはつぎのことを守ってください。

〇道路には物を置かないようにする。

道路はすべての人が利用するためのものです商品は店舗内に並べ、自転車などはきちんと整とんして、交通に支障のないようにする。

〇工事用の砂、砂利などの材料を道路に置く場合は、許可をうけて整然とおく。

〇道路で工事や作業をするときは、危険のないように看視人をつける夜間は照明をつけ運転者や、歩行者にわかるようにすることが、事故を防ぐうえにきわめて大切です。

◎**幼児を水から守ろう**

△春先から急に多くなる水死事故

水死は夏だけではないようです。春先から急激にふえてきます。幼児の水死をなくするために、つぎの点に注意してください。

△保護者の注意が大切。

〇幼児をひとりで遊ばせないようにする。ほかの子供といっしょでも、同じ年頃の子供では危険は同じことです。

〇子守りは責任をもってよく見てやる。仕事と子守りをかねているときは子守りを第一とする。

〇しつけのきく年令の幼児には、よくいいきかせておく。

△危険カ所には防護さくを

〇自分の屋敷内の池、そのほかの危険カ所には、さくを設けるなどして安全にする。

〇町内部落内の危険カ所にはみんなで話し合い金網をもうけるなどして危くないようにしてやる。

△危険な遊びには一声

〇仕事の途中、通勤の途中にはみんなで注意して、危い遊びを早く発見する。

〇危い遊びをみたら、その場で注意してやめさせるようにする。

（新津警察署）

歌会始めに みんなで参加を

昭和四十四年歌会始めのお題および詠進歌の詠進要領が、送付されてきましたので、みなさんにお知らせいたします。

要　領

一、昭和四十四年歌会始めのお題は「星」と定められました。

(注)星は天然の星に限ります。「天の川」も星の群ですから、歌の中に題材として使っても結構です。

二、詠進の方法

(一)一人一首限りとし、未発表の歌であること。

(注)一人で二首以上詠進した場合またはすでに発表された歌と同一若しくは、著しく類似した歌を詠進すると、失格となります。なお詠進した歌が、歌会始めの行なわれる日までに新聞、雑誌その他の出版物、年賀状等により発表された場合にも失格となります。

(二)詠進の用紙は、半紙白紙一枚を用い、毛筆で自筆のこと。ただし海外から詠進する場合は用紙は随意とし、毛筆でなくともさしつかいありません。また盲人等身体障害者は、点字で詠進しました半紙に他人が代筆してもさしつかえありませんが、代筆の場合は、その理由を書いた別紙を添えること。

(注)自分の詠進のほかに盲人等身体障害者でない他人の詠進の代筆をすると、全部失格となります。

(三)書式は、半紙に二つ折りにして、右半面にお題と歌、左半面に住所氏名(ふりがな)生年月日、職業を書くこと(書式図参照)

(注)氏名は、本名を書き、雅号等を用いないこと、職業は、具体的に詳しく書くこと。例えば何業、何商、何会社何役等の役職名、官公職名所属部課等、学生は何学校何学科何学年等、また無職の者(主婦を含む)は、元職業または世帯主の職業若しくは世帯主の元の職業を具体的に詳しく書くこと。

(四)詠進の期間は、本年九月一日より十月十日までとします。ただし郵送の場合は、消印が十月十日までのものは、有効とします。

(五)郵便のあて先は、「東京中央郵便局区内、宮内庁」とし、封筒に「詠進歌」と書き添えること。詠進歌は、送付の際、小さく折つて封入してさしつかえありません。

(六)以上について疑問がありましたら、直接、宮内庁式部職あてに、住所、氏名を書き、郵便切手をはつた返信用封筒を添えて、照会するか、都道府県庁または市町村役場に問い合わせること。

三、選者の氏名　本年八月上旬に発表します。

(参照図)

星

(歌漢字まじりでよい)

○○○○○○○○○○
○○○○○○○○○
(住所)○○県○○市○町○○番地
(氏名)○○○○(ふりがな)
(生年月日)○年○月○日生
(職業例示)
○○株式会社○○部○○課○○係
無職(元○○県○○町立○○小学校教諭)
無職(夫は○○銀行○○支店長)

スピード化する 郵便物

七月一日から全国いつせいに採用される「郵便番号制」について、前号にその概要をお知らせしましたが、この制度を実施するにあたつて、忘れずに実行していただきたいことをあげてみます。

◇郵便を出すとき

郵便を出すとき、ご自分の住所、氏名のわきに自分の町の郵便番号を書いておくこと、相手のかたは郵便番号簿をいちいち見なくても返事を出すことができ、おたがいに便利です。

◇郵便を差し出すとき

差し出し人側の郵便番号が書いてある郵便を受けとつたときは、すぐに住所録、顧客名簿などを訂正しておきましょう。

◇郵便番号は住所の一部

郵便番号は住所の一部としてお考えください。名刺その他、住所にはすべて郵便番号表示しましよう。名刺の場合、電話番号の上等において、書いてください。

◇映画を利用ください。

映画「郵便番号」をつぎの各局に備えてあります。学校の教育活動、公民館、団体活動等の文化活動をはじめ、各種の会合のおりなどにご活用ください。

配備局　長野局、新潟中央局、長岡局　長野郵便局

ご利用は、小須戸局へ申込みください。

◇ご注意ください

官製はがきは七月以降は記入ワク付のものを発売するよう手配しております。おもな封筒業者にもワクを印刷するよう協力を依頼しております。

また買いおき等のためにも七月以降ワク印刷のないものを使用されるかたのために、ゴム印を郵便局に用意するようにしております。ご利用願います

(小須戸郵便局)

明治百年にあたり 町の文化財研究を

文化財保存協会　江川　徳夫

草稿を綴るにあたり、その依つて来る所以と、将又これにより更に一層敬神崇祖の念と、文化財保存に対する関心がもたれるならば筆者この上もない幸甚とする処でありますが、先に神社、仏閣調査のため労力を奉仕下さつた方に、深く謝意を表します。

太古の昔一文字がなかつたので、いろいろのできごとについて語り役人という学があつたことはごぞんじのとおりであります。年代については春夏秋冬、めぐる毎に、しるしをして年代を見たものであります。文字ができてからは、いろいろの書物によつて、昔を知ることができましたし、特にまた検地帳というもので覗うことができます。今から約二百五十年前、江戸中期亨保年間に出されました、亨保検地帳によつて、その当時、またその以前を克明に記されてあるので郷土史研究のため大いに役立つて居るのであります。

亨保年間にこの検地帳をつくるについては、その資料となつてきたのは室町期、永禄年間に出た検地帳などが有力なものであつたと思います。

明治初年より玆に百年を迎え、この機会に近世史の出版、郷土史の編纂等がなされているのは、広く全国的のことであります。後世のためには、この記録を残すことは即ち、昭和検地帳とでもいうべきものであり、意義深いものが感ぜられるわけであります。凡そその地に生をうけ、あるいは生をなすため、その業を営み、子孫に継続するためには、その地が安住であり、個人的にも集団的にも希い立派な政治のとられてゆくことを望むものであります。

そこに誇りがあり、且郷土愛の精神も生まれてくるのであります。

他所にないもので我が郷のみに存ずるよい物産、立派な人物、歴史的事跡等は誇りになります。

それらの事を調査するために郷土史の研究が生まれ、その中心をなすものに神社があり、仏閣が出てまいります。先年県より郷土につらなる神社、仏閣について調査の依頼があり、そのため文化財保存協会調査員の方々に、ご足労を賜り調査をとりまとめ果結について、報告したことがありました。

調査をして行くと古いものはだんだん失なわれていたことで、遺感に思われたものであり、器物等のものは毀損し易いが毀損すれば、つとめて復元できるものはつとめて復元して頂き、修補でき難いものについては、保存して頂く方法をとつて頂きたい。原型は貴重であり改良せないことが望ましい。民族の興敗、経営管理の問題より統合癈止を余儀なくされる場合は、歴史上の事実を失うことなく克明にして置かなければなりません。我が郷にも先住民族が住居して居た事実はあるようであります。それは発掘されたもので判明されるし、又石器以後ではありますが、工作に適した地域として覗われる鋳造の跡、一石一字を施して供養した経塚などがあるので充分立証つけられます。また古城これはサクでもあろう、このように古い由来を伝えている地であり、それだけにそれに応わしい即ち、郷の鎮めがなければならないのであつた。天津神を祭神とした神社が多いが、国津神を祭神とした神社が少なくやほ萬代に渉る祭神権現がまづないようだ。

郷は奈良末期から、平安初期に入植、移植が行われ我が郷はもつと国津神、権現がなければならないよう感ぜられる。土地の権現を失わないよう、お祭りして頂きたい。また調査の対象になればお知らせ願いたい。

出雲神社(神徳記)

祭神　大国主神

さてこの大神は「すさのおの尊」の御子にましまして(一説にはすさのおの尊五世の孫あまのふきねの命の御子ともいう)しばしば危難に遭いたれども剛健不屈にして能く難に耐えたれば、父の尊も流石に其勇強なるに感じ宝の弓矢と剣を与えて、国土経営の大業を命ぜられたり。是より大神は草むらを苅払ひて土地を拓き雑木を伐倒して畑をつくり耕作の道を教え、医薬、まじなひの法を授けて病を治し、災を払うの道を示し、また各地に温泉を開き人々の病苦を救いて、天寿を全うせしめ、また諸国を巡行して荒ぶる神共を征服し、慈愛の深き御心は禽獣にも及びたりという。かくて大神は国土経営の大業をなし給つた。

俗間にて毎年十月を神無月といい、諸国の神々悉く出雲大社に集ひて、神はかりますといい伝えられ、併してこの神を祭る地国のみは、此月を却て神在月というなりとぞ。

さてこの大神は前述の通り功徳実に偉大にして、神威また頗る顕著なる御神なれば地(国)経営の主神として必ず此大神を奉斉せらるゝなり。

国土経営の大功を樹てられ事おわりて、八萬萬神を帥いて天上に至り、之を天津神に奏せられたりとある。

猶この大神につきては出雲大神祭日五月十四日(島根県出雲)

大神神社祭日　四月九日(奈良県三輪山)共に関連ある御社とする(略)

次回　住吉神社について

お勉強をする老人たち

寿百会だより

百寿会が結成されてから四年目をむかいて、独りで歩くように成長しました。老人は国内の事は言うまでもなく、世界に眼をむけなければなりません。その意味で昨年は、村山祐一さんをわずらわして、欧洲各国の人情風俗国土観光についてカラー映画を通して、つぶさにみせていただぎ、お話をうけたまわりました。老人になつて新しい知識を得るということ、若返りの方法だと思います。また若返りは長寿の方法であります。今年もオーストラリヤを親しく視察してお帰りになりました、丸山耕平さんをお願いして、彼の地の映画を公開していただき、もつて知識を世界にもとめ、大いに若返つてもらいたいと思うのであります。故きをたづねて、新しきを知ると申されておりますから、老人も新しい知識を得て、大いに若返り、長寿を培つていただき、若い人にまけないようにしたいと思います。どうすればよいか、新聞世界に眼をむけるとは、に出た世界各国の記事に眼を通す。テレビやラジオに出た視聴覚の事を視たり聴いたりして、見聞をひろめることである。こんな心掛けがあれば世の中におくれをとらないです。ひろく視野を、世界にむけて月の世界に旅行が可能な、現代人になつていただきたいと思います。

小柳さん(小六)一級 新木君(小三年)三級 合格おめでとう

年三回商工会で実施しておる珠算検定試験に、小学校六年生の小柳さんが一級に、また二年生の新木君が三級に、それぞれ合格しました。

そろばんは、電子計算機が普及した今日でも、簡単にいつでも、どこでも、しかも正確に計算できる便利さは、むかしも今も変わりません。この二人は、まだ小学校課程でもむづかしい問題をみごとに解き、あたいられた短かい時間内で、各科目共に規定以上に解答をし、審査にあたつた検定委員を驚ろかしました。

また今回の合格率は四〇、九七%でありましたが、日頃からの練習と、努力をおおいに期待をしたいと思います。

尚第十八回検定結果は、つぎのとおりであります。

○受験者数　五三二名
○合格者数　二一七名
○合格率　四〇、九七%

一級　小柳美智子
二級　野崎　恵子　荒井ナナ子
三級　新木　透　高山　広行
佐藤　静子　東樹　幸亮
大貫　信広　高野　千春
大川　京子　近藤とき子
中山　郁子　田上　享子
山崎　綾子　八木　啓子
中山まゆみ　保科　良子
池田美善子
四級　吉田美智子　川瀬　弘彦
大滝　修一　陸　徹
砂井　時雄　高野　清
牧野留利子　石本　弘子
窪田智恵子　田沢　良子
五級　阿部　裕輔　八木　達雄
岡田　義明　阿達　安生
石黒　久子　新井田良子
今井　京子　八木　裕子
荏原　美晴　東条　敏明
六級　青木　一芽　清水　綾子
本望　克代　大倉　武
五十嵐輝章　田沢　広一
野崎　茂　木伏　輝章
村井　朝子　藤田千恵子
川瀬　恵子　田中　洋子
砂井　恵子　森田恵美子
木伏　栄一
七級　青木　一芽　石井久美子
渡辺　直子　井本　葉子
窪田　範子　五十田るみ子
野崎えり子　真島　玲子
坂井　律子　阿部エリ子
加藤富士雄　須藤　一也
川村　賢一　加藤　考己
五十嵐克美　高橋　直樹
石倉　正人
八級　須藤　正己　田中　正英
田中　彰　野崎佐喜子
梅津　三洋　五十田正子
菊地　良輔
(以上)
小須戸町関係分

元気な少年剣士

柔剣道だより

風にも負けず雪にもまけず元気一杯の少年柔剣士たちは武道舘での寒けい古を一日たりとも休もうとしない。

一、父母を尊べ
一、長上に敬意を
一、勉学も真剣に

と力誦する少年の成長を村山前町長の肖像が静かに見守つている。

少年に夢と希望を。剣道は、即人づくりである。町ぐるみ、底辺の広い剣道の町、小須戸実現のため、若き少年剣士(小中学生)の、育成こそ当面の急務である。

寄贈お礼

一、前町長　村山吉五郎氏　武道舘二階道場に六尺三尺の大鏡寄贈
一、町議　風間留栄氏　剣道防具一組寄贈
一、水戸屋　谷川勇一氏　柔道着一組寄贈

厚くお礼申しあげます。

みなさんおめでとう 書きぞめ展

北越書道会主催、新潟日報社など後援、第二十二回書きぞめ全国展は、さる二月新潟市で開催をされたが、応募作品九千余点の中から、つぎの特選受賞者が選ばれた。(小須戸町関係分のみ)

小学校の部
二年生　伊藤　史子
三年生　久住　れい
　　　　五十田淳子
六年生　栄森　智子
中学校の部
二年生　村山　昌子
一般の部
吉井　凍葉

昭和四十三年度 交通安全 年間スローガン

○運転者むけ
あなたは今安全運転をしていますか

○歩行者むけ
さあ青だ、いやもう一度右左

○こどもむけ
あそびません、こわい車のとおるみち

お知らせ

運転免許試験

免許更新には
今後医師の診断書は必要ありません

二月二十七日
新津警察署長

弥生月句会報

小須戸町俳句同好会

春寒や事故車に早やも人だかり　山葵
春寒く出稼ぎの尚続きけり　小滝
学校の大玄関や春の泥　光沢山
雪底の野菜掘りあて汗拭う　芳人
ストーブを止めて静かに春寒し　香月
釣掘の開店近し水温む　碧水
音たてゝひびの走りし沼氷　杏水
青天の色もつめたき大試験　虚秋
就中陽抱きの氷柱太かりき　喜雨
指先の池温が熱しトマト植う　太浪
眠る児の玩具そのまゝ春炬燵　竜朗
春寒や二度目の風邪にとりつかれ　流水